

課題を改善するための校内研修（例）

1 研修計画

所属長は、研修の初期段階において、対象教員と面談することにより、具体的事例を振り返り、自己課題に対する認識を深めさせる。

また、自己課題に応じた研修計画を、学校の実態に即して計画する。

第1期の研修計画例は、下記のとおりです。

	研 修 内 容	留 意 点
初 期	自己課題レポート作成	・所属長との面談を踏まえて、自己課題の認識について確認するため、レポートを作成させる。
中 期	年間指導計画作成	・年間指導計画や学級経営案等の作成指導については、研究主任等の支援を受ける。 ・模擬授業（例えば、1回を20分程度）を行い、改善点を指摘する。 ・後日、同じ単元の模擬授業等を繰り返し行って、さらに改善を深める。
	学級（H.R.）経営案作成	
	学習指導案作成	
	模擬授業又は研究授業	
終 期	模擬授業	・研究授業を行うことにより、課題の改善の程度を検証する。
	研究授業（検証）	

2 研修の実施

① 研修内容は、対象教員の課題に応じて実施する。

第2期の研修計画及び研修内容については、第1期の研修の成果を踏まえて、必要な研修を繰り返す。

② 実施期間を流動的に捉え、適宜、下記の研修等を加える。

- ・ 3分間スピーチ
- ・ 学級通信作成
- ・ 掃除指導
- ・ 幼稚園や保育所での体験研修
- ・ 街頭等での交通安全（挨拶）指導
- ・ 模擬教育相談
- ・ 課題レポート作成
- ・ 模擬職員会（司会） 等

3 相談（情報提供）

課題を有する校内研修等の実施にあたって、ご質問等があれば、下記の担当にご連絡ください。

〔 連 絡 先 〕

高知県教育センター 次世代型教育推進部

主任管理主事 田上 禎久

チーフ（管理職・マネジメント研修担当） 市川 百合

TEL 088-866-7383 FAX 088-866-0074